



## 経口糖負荷試験

糖尿病があると感染症にかかりやすくなるのは知っていますか？  
健康診断で血糖値もHbA1cも基準範囲内だから大丈夫！と思っている方はいらっしゃいませんか？  
糖尿病の一步手前となる方も中にはいるのではないのでしょうか？  
ではそれはどのような検査をして分かるのでしょうか？  
それは経口糖負荷試験(OGTT: oral glucose tolerance test)をして、判明します。  
簡単に言うと、ブドウ糖の入った甘い飲み物を飲んでもらい血糖の値がどう変化していくかを見る検査です。

### 糖尿病があると感染症にかかりやすい！？

糖尿病は、血液中の糖(ブドウ糖)が多い高血糖の状態が続き、全身の血管が傷ついていく病気です。  
糖尿病で高血糖の状態が続くと、白血球の働きが低下してしまうことが分かっています。  
白血球は、ウイルスや細菌などを攻撃し、私たちの体を守る免疫の働きを担っています。  
そのため、糖尿病があると、新型コロナウイルスを含めたさまざまな感染症にかかりやすくなるのです。

### 検査方法

1. 絶食で行います。(水は飲んでいただいてもかまいません)
2. 採血、採尿にて空腹時の血糖値などを測定します。
3. トレーランG(75gのブドウ糖を炭酸水に溶かしたもの)を飲みます。
4. 飲んだ30分後に採血、1時間後に採血・採尿、2時間後にも採血・採尿をします。

※検査時間は2時間程度かかりますので時間に余裕をもってお越しください。

※糖負荷試験を行っている間に空き時間がありますが、血糖値の値に影響をおよぼしてしまう可能性があるため激しい運動や喫煙などは控えてください。

※トレーラン摂取1時間後、2時間後に採尿がありますが、この時間以外にお手洗いに行ってしまうと、指定した時間に採尿できないこともありますので注意してください。



こちらを飲んでいただきます。



# 判定

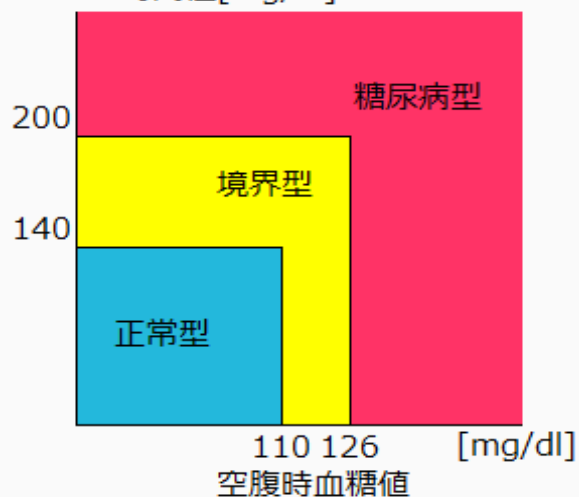
血液検査の結果から、右図のように分類されます。

**正常** 空腹時血糖値110mg/dL未満  
負荷後2時間値140mg/dL未満

**境界型** 糖尿病型、正常型のどちらにも属さない状態

**糖尿病型** 空腹時血糖値126mg/dL以上  
負荷後2時間値200mg/dL以上

OGTT2時間値[mg/dl]



「糖尿病型」ではなく「境界型」だから大丈夫。と  
思っははいけません！！「境界型」は将来、糖尿  
病になる確率が高いということです。

## 糖尿病の怖さ

糖尿病になると、血糖値の高い血液が血管内を流れます。それにより全身の血管が傷んでいきます。それが主な原因となり、さまざまな合併症を引き起こしてしまいます。

細い血管が痛むことが原因で起こるのがいわゆる3大合併症（網膜症、腎症、神経障害）です。

一方で、太い血管が痛むことが原因で起こるものには脳梗塞や狭心症、心筋梗塞、足壊疽などがあります。

また、最近では糖尿病が歯周病、認知症、がん、骨粗しょう症などにかかりやすくなったり、感染しやすくなったりと体の全身に悪影響を及ぼす原因になることが知られてきました。

このように糖尿病は全身に影響を及ぼす重大な病気です。

糖尿病の合併症の特徴は「一度発病すると治らない（不可逆性）」、「全身で同時に進行しているの  
でいくつもの合併症が同時発病する（同時発症）」「高血圧、脂質異常症、加齢などでさらに進行する  
こと」があげられます。気付いた時には治すことができなくなっていたり、全身の色々なところが悪く  
なっていたりすることがあるので、注意が必要です。

糖尿病になってから治療ではなく、なる前に予防、治療できるようにまずは自分がどんな  
状態なのか、この検査で発見しましょう！



血液検査について詳しく知りたい方は、医師にご相談ください。